

パソコン組んでみるよ。

① パーツ式 & 小道具リスト



超高速 M.2 SSD 500GB搭載 GTX1060
6GB + Core i7 8700K 組立キット

[ケース] Thermaltake Versa H25
電源と、1225 (1辺120mm,厚さ25mm) ファン2基付き

☆ USB2.0×4 PCI増設ポート

OS	CPU	グラフィックボード	★ メモリ
Windows 10 64ビット	Core™ i7-8700K 6コア / 3.7GHz	★ NVIDIA®GeForce® GTX 1060 6GB 1050Ti 4GB	16GB 8GB メモリ (8GB×2枚)
★ ストレージ	マザーボード	DVDドライブ	電源
250GB 500GB M.2 SSD + 3TB 3.5inch HDD	ASRock Z370 Pro4	DVDスーパーマルチ ドライブ	500W 電源 ※ケースに付属

通常キット価格



税込
約 160,000円 (税別)
※最初の購入品



185,000円 (税別)

購入日 : 2018/03/23

購入店 : PC デポスマートライフ水戸店

※構成は購入日時点のものです。現在の同一 CPU での構成は、店頭または Web サイトで確認しましょう。

実際に購入したグッズです。



初めての自作 PC だと、グッズだけあっても組み立てられないので、教則本や小道具も揃えます。

(自作に慣れてくると Web サイトや製作過程動画だけでも組み立てられることがありますが、紙媒体があると安心)



PC 自作の鉄則! 2018 (日経 BP パソコンベストムック)

年号が変わって毎年出るみたいです。

実際にデスクトップを組み立て始める前に買って、パーツ選別に活用するもよし。

キットを購入してから買って、マニュアルとして使うもよし。

しばらく Web 検索等でごんばってみた後で「やっぱり紙の物で手順振り返る」もよし。

迷ったら、コレ

以下、小道具類。購入したものと、手持ちを活用したものがあります。

(1) 静電気防止手袋

—息子のものを借用。

マザーボードにいろいろ取り付ける時には、素手で作業するより安全かつ安心。

帯電防止ストラップ/リストバンド を使うもよし。(息子は持っている)

(2) マザーボードが入っている箱 & 黒っぽいビニール袋

—これは「用意する」というよりは「捨てないで」な感じ。

特に黒っぽいビニール袋は、帯電防止仕様になっている。

マザーボードの箱に、マザーボードが入っていた黒っぽいビニール袋を敷いて、CPU やらメモリ板など各種部品の取り付けをします。

(3) ラジオペンチ

(4) ニツパ

(5) 結束バンド

(6) 柄の長いプラスドライバー

結束バンドはすごくたくさん持っていてもちすぎることはない。使い回し利くし、配線を直したい時に安心。

ニツパは、結束バンドを切る時（留めたものをほどく時に切る）に活躍
柄の長いプラスドライバーは、PC ケースの隅っこにあるネジを締める時に大活躍します。

(7) ビニタイ

裏配線（＝最短距離でなく、ケーブルをマザーボードの裏側を通してつないで、PC ケース内の通風効率を上げる配線法）の際に各種ケーブルを仮止めするのに便利。結束バンドだと、やり直したくなかった時に切らなければならないところを、ビニタイだと何度も留めたりほどいたりを繰り返せます。

（ 8 ） PC 用ネジセット

各種パーツにもついてくるけれど、持っていて安心。

AINEX のケース付きネジセットを購入。1000 円ちょっと。

（ 9 ） CPU グリス

CPU ファンについてくることもあるけど、より高性能を求めたり、やり直しになった時のために、持っていて安心。

（ 1 0 ） ヘラ

CPU グリスをよりきれいに塗るために使います。

CPU グリスについてくることもあるし、別売りのこともあります。

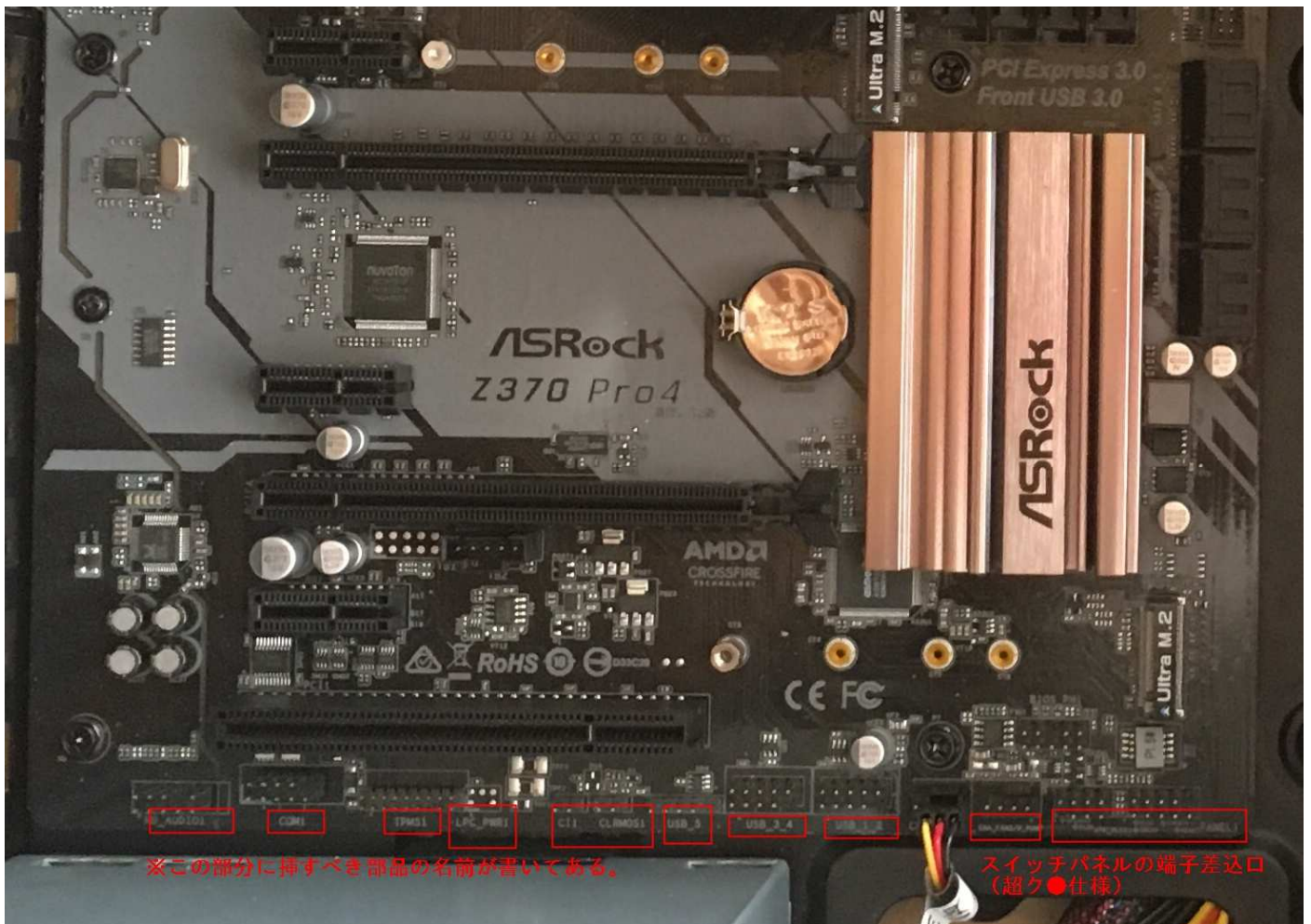
100 円ショップで売っている汎用ヘラの細かい物を流用しても OK。

（ 1 1 ） ルーペ

廉価品の手持ちがあったけど、よりデカイのを 100 円ショップで購入しました。

視力のため以外にも、あると何かと便利です。

ルーペをどう使うのか？



マザーボードは、各種ケーブル（特に電源系統）の差込口が、とても小さな字で英語の略語で書いてあります。マザーボードの説明書にもどこにどのケーブルを差すかは書いてありますが、直接見るほうが配線の失敗を防ぎやすいです。PC自作の中でルーペが一番活躍するのは、配線の時です。